

町議会とあなたを結ぶ

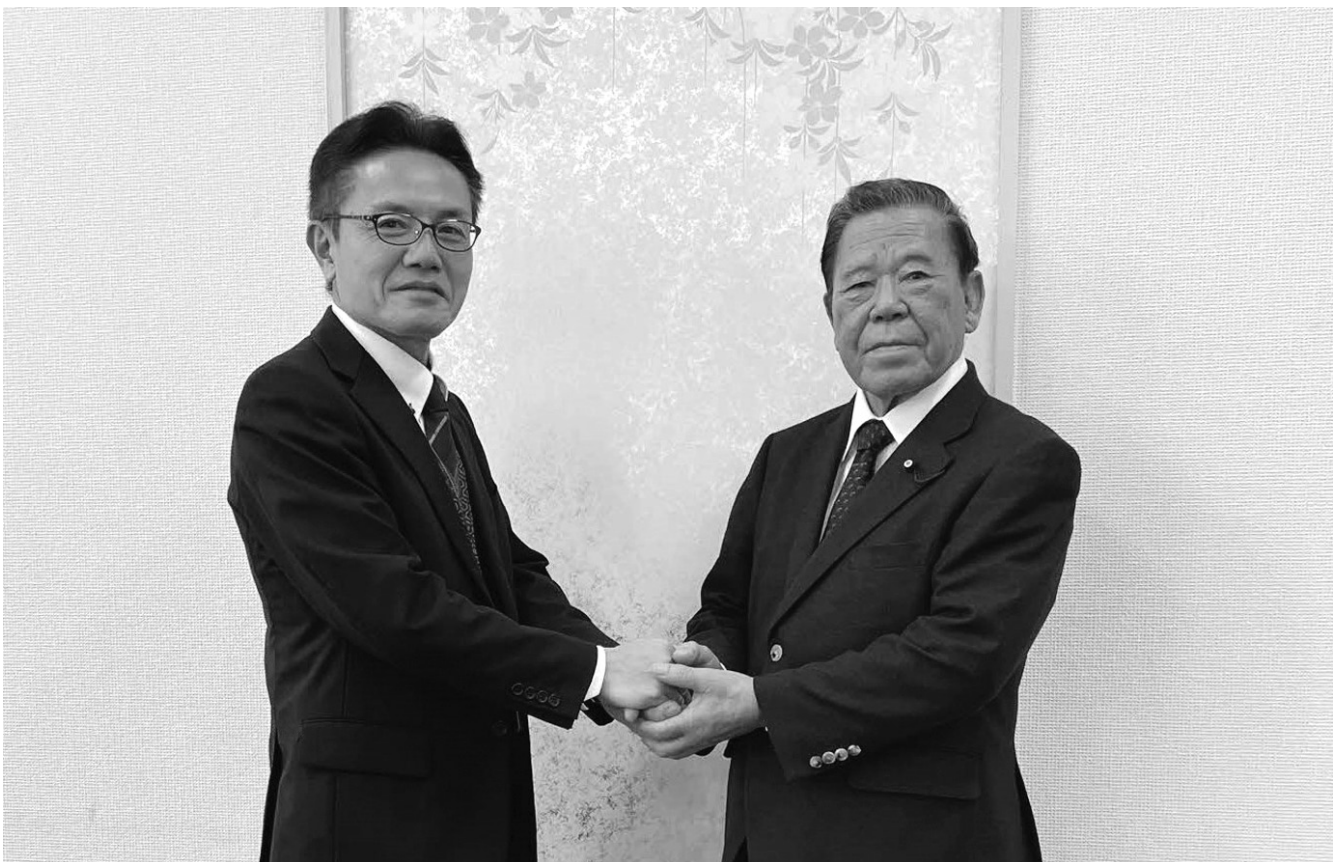
議会だより

しらおい、

183

定例会1・2・3月会議号

2023年4月30日発行



(大塩英男町長と松田謙吾議長がまちづくりについて対談)



議会だより
(町ホームページ)



議会フェイスブック

P 2～3 特集 大塩英男町長と松田謙吾議長のぞっくばらん対談

P 4～8 委員会報告 (議会運営・総務文教・産業厚生・広報広聴) / 会議予定

P 9～10 定例会報告 / 議会のうごき / 編集後記

ざっくばらん 対談

大塩 英男 町長

松田 謙吾 議長

定例会3月会議直前に町長選挙が行われたため代表・一般質問の機会がなく、議員の質問から町長の政策を示すことができなかったことから対談を企画しました。



司会 大塩町長と松田議長のざっくばらんな対談を企画しました。最初に町長の子供の頃について伺ってみたいと思います。

大塩町長 割と活発な方で、小学生の時は児童会に立候補して選挙運動をしました。高校時代も生徒会長になり、人の役に立つことをしたい明るい性格でした。

7歳の時、祖父が早来町の名誉町民として表彰され、銅像の除幕式を私が行いました。子供ながらに、凄い人だなと思っていました。私が役場に勤めた頃、祖父から「とにかく人のために働かなければならない」と公務員の心構えを教わりました。

司会 議会を代表して議長から町長に託したいことを伺います。

松田議長 命を守る町立病院建設計画があるが、病院の評価が低い。病院の内部改革と一日も早い建設が大きな使命だと思う。
町長 物資が入らず、開院が半年延びてしまい町民の皆さんに

お詫びします。病院経営者として、職員が町民に信頼されるよう努力し、町民に寄り添う気持ちを形にしていきます。

議長 ウポポイができて約3年になる。コロナ終息後、ウポポイを含めこれからの町の在り方は。

町長 ウポポイを観光の起爆剤にして経済を活性化したいと考えています。社台から虎杖浜まで周遊してもらえよう、情報発信とPRを観光協会とタッグを組んで行いたいと思っています。一方で、

地域の方にごみや騒音問題など迷惑がかからないように対応します。
議長 観光客が通る道路の草を刈るなど、社台から虎杖浜まできれいなまちをつくってほしい。

町長 まちのイメージは大切です。環境整備もおもてなしの一つとしてしっかり取り組みます。
議長 町民の半分近くは高齢者で、萩野から虎杖浜までスーパ

ーがなく買い物難民になっている。デマンドバスができて

も利用方法も時刻表の見方も分からない方もいる。高齢者の足の確保について職員と町民の考えがかけ離れているように思う。

町長 「病院を何とかしてほしい」、「足を確保してほしい」との声を多く聞きました。まだまだ不十分な点があると思いますので、皆さんが必要としているものを聞かなければならないと思っています。

議長 人口減少にどうしたら歯止めがかかるのか、人口を増やすとか、町民に分かりやすく、上手に説明してほしい。

町長 重点項目に人口減少対策を挙げました。町のトップとして決して諦めずに、町が持続可能であるよう人口減少をくい止める様々な策を講じます。町民意識調査では、まちへの愛着度が高い結果が出ています。白老が好きな方々を大切にして、白老に住み続けてほしいと思っています。

議長 来年は町制施行70周年を迎える。最高2万5千人いた人口が今は約1万5千人まで減少し、インフラ施設は建築後65年になる。老朽化した施設の集約、整理、整備に約一十億円の費用が掛かるが、どのように考えているか。

町長 公共施設の適正配置は、町の財政に影響する大きな課題です。財政健全化プランを作成したときから公共施設の適正配置は財政を立て直す一つの方策と言われてきましたが、紆余曲折があり整理できていません。公共施設のコンパクト化、集約化はしていかなければなりません。地域の方々に使われている施設なので、皆さんの声を聞いて進めたいと考えています。

議長 ふるさと納税は、少なくとも白老を助けたいと思う人の心であり、その寄付金で役場庁舎を建設する決断をしてほしい。子供のいない人が増えてきて、建設に寄付する人もいると思う。



- ・昭和17年生まれ (80歳)
- ・昭和54年4月 白老町議会議員初当選
- ・平成13年5月 第16代議長就任
- ・令和元年11月より 第22代議長

松田謙吾議長

町長 白老町を思い、応援したいという気持ちで寄付して頂いています。町のシンボルとなる庁舎の建築にふるさと納税を活用する、みんなで建設する役場。すばらしいご意見を頂きましたので、実際に具体的に考えていきたいと思えます。

司会 選挙公約をどのような思いで掲げ、町民にどのような伝え、どのようなまちづくりを目指しているのか教えてください。

町長 3つの将来像「魅力あふれるまちしらおい」、「人も仕事も活力あふれるまちしらおい」、「誰もが幸せを感じるまちしらおい」と、9つの目標を掲げました。特に、「子どもはまちの宝」なので子育て支援、「町民一人ひとりがまちの財産」なので人口減少対策、「幸福感」ということが充実してこそだと思えますので、暮らしの充実の3つを重点項目としてまちづくりを進めます。注目していただきたいのは、事業には必ず必要となる財源を掲げたところです。手前みそではありますが、初めての試みであり、うそ偽りがないと証明するために示したわけです。

「共感広がる信頼のまちづくり」を基本方針として今後4年間のまちづくりを進めます。行政の課題は役場だけで解決できる時代ではありません。私が直接皆さんの意見を聞き、みんな



- ・昭和47年生まれ (51歳)
- ・平成6年4月 白老町役場入庁
- ・令和5年1月 白老町退職
- ・令和5年3月 白老町長初当選

大塩英男町長

知恵を絞る。そこから共感が広がり、信頼関係を築きながら手を取り合ってまちづくりをしていきたいと考えています。

司会 町民の皆さんに何かお願いしたいことはありますか。

町長 選挙では投票率が低く大変ショックで、残念でした。まちづくりへの関心が低いあかしだと思えます。投票率の低さを踏まえて私も努力しますので、皆さんもまちづくりに関心を持ってください。お願いします。

議会運営委員会

陳情審査報告

陳情第1号 白老町議会の
自主解散に関する陳情書

◎提出者

山丸和幸氏、中村隆一氏
福澤孝宏氏、鈴木靖男氏

◎陳情の要旨

町議会議員の選挙は、任期満了となる本年10月に行われるが、このたび現職町長が1月に辞職され、公職選挙法に基づき3月には町長選挙が行われる。

このことから、町民が2度にわたり投票に出向くことの負担や投票事務に要する経費等を鑑み、白老町議会におかれては、町長選挙と同日に行うため、地方公共団体の議会の解散に関する特例法に基づき自主解散するよう陳情する。

◎陳情の理由

町長は3月に選挙、一方で町議会議員の選挙は任期満了を迎える10月であり、町長選挙と異なる日程で選挙が行われるため、この後の改選期も別日程が続くこととなる。

そのため、多くの町民の意見としては、投票者の負担軽減を求めるとや町民の税金で賄う選挙事務等を節約すべきとの声が寄せられ、高齢者にも考慮し、できることなら町長・町議選挙を同日に行うよう、私たちとしてもその意見を反映すべきと考え、陳情書の提出に至ったものである。

町民の代表である町議会議員の皆様におかれては、この町民の声を真摯に受け止めていただき、しかるべき措置を講じていただくよう強く望むものである。

◎審査の結果

採択すべきものと決定

◎審査意見

陳情者を参考人として招致し、願意を確認して審査した。

陳情者の願意は、現職町長が1月に辞職し3月に町長選挙が行われるため、町議会議員は任期満了となる10月の選挙を待たず、2度投票に出向く負担や投票事務の経費等を鑑み、町長選挙と同日に行うよう地方公共団体の議会の解散に関する特例法に基づき自主解散を求める、議会に対する要望である。

陳情者は、選挙費用の軽減と、町長・町議会議員選挙の投票を1回で済ませたいとの意向であり、独自の聞き取りでは大半の方が同様な意見であったため、本陳情に至ったことである。町選挙管理委員会の説明では、それぞれの選挙経費と同日選挙の費用の比較では、同日に選挙を行うことで約1190万円が軽減され、過去の投票率は同日選挙が平均87%、町長選挙が無

投票で議員選挙のみが平均68%となっており、2割ほど投票率が低調であったことが示された。

委員からは願意に対し、趣旨は理解するが本年3月の町長選挙に合わせることは拙速であり、議会として十分に議論すべきという意見があり、今後の議会改革における諸課題を含め4年後を見据えて議論を深めるべきとの慎重な考えも示された。

しかしながら、同日選挙により選挙経費の抑制に一定の効果が見込まれること、町民が投票に向く負担の軽減や利便性の向上にも寄与されること、町議会議員選挙の投票率の向上も期待でき、陳情者である町民の意思を深く受け止め、願意は十分に理解できるとの結論に至った。このことから、本陳情について、議会が自主解散すべきという陳情者の願意は妥当であり、審議の一致をみたことから採択すべきものと決定した。

【採決結果の解説】

「陳情第1号 白老町議会の自主解散に関する陳情書」は、議会運営委員会での審査の結果「採択すべきもの」と決定されましたが、第1回定例会2月会議において議員より提出された「決議案第1号 白老町議会の解散に関する決議（案）（提出者・小西秀延議員、賛成者9名）」は、投票による採決の結果「否決」されました。

議案に関連する請願（陳情）

は、その陳情審査の結果によらず、関連議案が「否決」されたときは「みなし不採択」となることから、地方公共団体の議会の解散に関する特例法に基づき議員から提出された決議案第1号と地方公共団体の議会の解散に関する特例法に基づく自主解散を求める陳情第1号は同趣旨であるため、決議案第1号が「否決」されたことにより、陳情第1号は「みなし不採択」となりました。

地方公共団体の議会の解散に関する特例法

（この法律の趣旨）

第一条 この法律は、地方公共団体の議会の解散の請求に関する世論の動向にかんがみ、当該議会が自らすすんでその解散による選挙によってあらたに当該地方公共団体の住民の意思をきく方途を講ずるため、地方公共団体の議会の解散について、地方自治法の特例を定めるものとする。

（議会の解散）

第二条 地方公共団体の議会は、当該議会の解散の議決をすることができ、

- 2 前項の規定による解散の議決については、議員数の4分の3以上の者が出席し、その5分の4以上の者の同意がなければならぬ。
- 3 第一項の議決があったときは、当該地方公共団体の議会は、その時において解散するものとする。

定例会6月会議の予定

（日程は変更になることがあります）

■日時（いずれの日も10時から）

- 6月2日（金）本会議（執行方針説明）
- 6月14日（水）議案説明会
- 6月20日（火）本会議（代表質問）
- 6月21日（水）本会議（一般質問）
- 6月22日（木）本会議（一般質問）
- 6月23日（金）本会議（一般議案）
- 6月26日（月）本会議（予備日）

■会場 議会議事堂（役場2階）

■問い合わせ 議会事務局 TEL 82-6620

* インターネットで議会中継を配信しています。感染症拡大防止のため、利用可能な方はこちらを御利用ください。

なお、傍聴される場合は、傍聴席の間隔を空けて御利用ください。

白老町議会情報公開制度の実施状況 （令和4年度分）を公表します

白老町情報公開条例（平成11年条例第33号）第22条及び白老町情報公開条例の施行に関する議会規程（平成11年議会訓令第3号）の規定により、令和4年度の実施状況を次のとおり公表します。

1. 公文書の開示等の状況

（1）請求者数 1人

請求内訳：個人1人、法人その他団体0人

（2）請求に対する決定の内容

請求件数2件（決定の内訳：全部開示2件）

（3）開示の方法

閲覧 0件

写しの交付 2件

（4）開示文書件数及びその枚数

会議録 2件 10枚

議決書 0件

会議資料 0件

2. 異議の申し立て件数

なし

総務文教常任委員会

所管事務調査報告

本委員会は「第6次白老町総合計画の進捗状況」について所管事務調査を行い、その結果を定例会3月会議で報告した。

【実施計画の取組状況】

第6次白老町総合計画は、令和2年6月に策定され、まちの将来像「共に築く希望の未来しあわせ感じる元気まち」の実現に向け、令和9年までの計画期間となっており、基本構想及び基本計画と毎年見直す実施計画で構成されている。

第6次計画での取組として、当初予算との整合性はもとより第5次計画までの課題であった補正予算の計上及び執行管理を

精査し、年度ごとの総予算額と決算額の把握に努めており、1年ごとのPDCAサイクルの慣行、計画期間の前半終期となる令和5年度の前期評価及び後期に向けた計画の見直しにつなげたい考えである。

町としては、令和9年の目標達成となるよう、後期に向けた計画内容の見直し・改善を含め、より効果的な事業の展開に努めていくこととしている。

【委員会意見】

実施計画は、前年度からの事業数の増減及び追加された事業の捉え方、各事業と予算執行との整合性を図っていること等については、膨大な情報やデータから整理され管理が徹底されていることは理解できた。

しかしながら、個別事業における評価について、町民満足度及び成果指標の推移等が示されているものの、さらなる検証と評価の「見える化」が必要である。

また、重点プロジェクトでは、細かく体系別に整理されている中で目標値の設定や達成率の捉え方等においても、町民にもわかりやすく理解が深まる仕組みを検討すべきである。

今後もPDCAサイクルによる進行管理が想定されるが、町の組織体制及び高度化する業務内容を見据え、業務の効率化、合理化等を図るためには、継続した行財政の改革、DXの推進にも着目し、必要な改善を進めるべきである。

町の政策規範となる総合計画の推進においては、円滑な行政運営があつて各事業が達成されること町民サービスに寄与されることから、今後の取組経過や状況について「見える化」を図り、理解共有から実効性を高めることに繋がることを期待する。

***DXとは** デジタル技術を用いることで生活や仕事等が変容していくこと

広報広聴常任委員会

小委員会

【議会報告会の企画及び運営】

毎年5月をめどに実施する議会報告会を、令和5年は改選の年であるため、4年間の総括を行った後、実施することとした。

【広報広聴の調査・研究】

広報広聴常任委員会の議会改革の一環としての広報広聴活動についてまとめ、議員研修誌「地方議会人」に寄稿。
(2023年2月号に掲載)

【議会広報の編集・発行】

議会だより第182号の編集・発行

*「地方議会人」は、全国市議会議長会と全国町村議会議長会が共同編集し、株式会社中央文化社が発行する議員研修誌。特集「デジタル化は誰のため？」のなかで、白老町議会の取組を紹介する機会をいただきました。

【視察研修報告】

熊本地震から学ぶ防災対策並びに住民生活の環境改善に向けて地震発生から6年が経過した熊本県内の4町（大津町、菊陽町、御船町、嘉島町）において、災害時の対応や復興状況、住民生活の環境改善に向けた取組について視察を行った。



視察内容と主な取組

① 熊本県大津町

・防災・地域づくり「熊本地震の復興状況と災害対策について」
・新庁舎づくり「新庁舎建設について」
地域住民と一体となり震災をバネに個性的なまちづくり

② 熊本県菊陽町

・人口減少対策「人口増加率県内1位となった取組について」
生活、産業の充実により、仕事と生活が完結するまち

③ 熊本県御船町

・財政健全化対策「ふるさと納税の取組について」
菓ごもり需要増加等によりふるさと納税額が約4倍増加

④ 熊本県嘉島町

・人口減少対策「移住定住促進について」
結婚・出産・子育ての希望を叶える環境づくり事業を実施

【委員会所感】

地震発生から6年が経過した熊本県4町を視察したが、各町は復興され、ハード面の爪痕は見受けられない状況であった。全国的に総人口減少の下での移住定住促進であって、視察した各町も独自性など特徴ある政策ということより、他の自治体と同様の取組も見受けられた。



大津町の新庁舎の議場

親子席が設けられ、子供と一緒に気兼ねなく傍聴できる

4町は共通して熊本市に近接し、熊本市、熊本空港への交通の利便性や九州全体で推進する半導体産業の企業誘致の流れ等、好条件が多いことも人口増加につながっているが、熊本地震以前から都市計画を見据え区画整備事業が政策化され、町の基盤整備が実現されていることは、各町における未来を見据えたまちづくりの成果と捉える。

今後、本町においても見習うべき点であり、未来への投資となる一貫した政策の推進が重要である。

熊本地震から学んだ防災対策においては、いつ起こるか予測できない事態に備え、公共施設等の耐震化の計画的な実施と地域住民の安全を守る防災施策が必要不可欠であり、本町においても地方創生全般にわたる取組も踏まえ、地域と一体となって邁進すべきと考える。

産業厚生常任委員会

【視察研修報告】

人材育成や確保による3連携の充実と将来を据えた産業の振興について

① 島根県雲南市

「コミュニティナースの取組」

コミュニティナースとは、職業や資格ではなく実践の在り方である。

視察先であるコミュニティナースカンパニー(株)は「世界でいちばん

つながるしあわせ にあふれるま

ち」を目指して、島根県雲南市を拠

点に、「病になることを防ぎ、元氣

な暮らしを続ける環境、仕組みが不

足している」という社会課題の解決

のためには「まちの中に心地よい予

兆検知の担い手を増やす」ことが必

要という考えのもと、「コミュニティ

ナースの発掘・育成」、「コミュ

ニティナース提供される事業モデル

の開発・支援」という育成と事業化

の2つの軸で運営している。

② 島根県邑南町

「日本一の子育て村・A級グルメ構想」

人口減少対策として、「攻め」と

「守り」の2つの事業を柱とした

移住・定住施策に取り組んでいる。

■「攻め」A級(＝永久)グルメ構想

「A級グルメのまち」を商標登録、

町営で地産地消の高級イタリアン

レストラン開設し各種メディアに

も取り上げられ、町の知名度向上。

■「守り」日本一の子育て村構想

中学校卒業までの医療費無料、

第2子以降の保育料完全無料など

「地域で子育て」をキーワードに

事業展開。3年連続で人口社会増。

③ 島根県浜田市

「シングルペアレント介護人材育成事業」

ひとり親が浜田市に移住して

介護事業所で研修を受けつつ勤務

するという事業により、ひとり親

の支援、定住人口の増加、介護人

材の確保という課題に対応するた

めに本事業がスタートした。

1世帯につき月額3万円の養

育支援金、家賃月額の半額補助、

中古自動車無償提供など他にも

手厚い支援があり、事業開始5

年で子供を含む44人が浜田市へ

移住した。

【委員会所感】

① 島根県雲南市

コミュニティナースの取組は、

地域のニーズに合わせ柔軟に活動

ができ、地域包括ケアシステムを

構築する上で欠かせないと考える。

一方で発祥の地である雲南市

でも認知度は約20%であり、コ

ミュニティナースの浸透率に課

題があると感じた。

② 島根県邑南町

人口減少という危機意識を役場

全体で共有し、新たな挑戦に果敢

に取り組んだことが、地域に活力

を生む結果となって表れたと感じ

た。縦割りでなく、「子育て」とい

うキーワードで横断的に施策に取

り組んでいくことが重要と考える。

③ 島根県浜田市

シングルマザーに焦点を絞り、

一人当たりに対する大きな補助が

ある事業は効果が大きく、魅力的

な事業と感じた。一方で、財源が

国からの交付金頼みであると、事

業継続が不安定になると感じた。



邑南町での視察研修



視察を前に、白老町内のコミュニティナースの活動について研修を行った

定例会1月・2月・3月会議報告
～議決結果をお知らせします～

会 期

- ◎定例会1月会議
会期の決定（令和5年第1回定例会
令和5年1月6日～9月30日 268日間）

予 算

- 〔令和4年度予算〕
◎定例会1月会議・2月会議
▼一般会計補正予算（第10・11号）
▼町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）
◎定例会3月会議
▼一般会計補正予算（第12・13号）
▼国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
▼後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
▼介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
▼町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第4号）
▼港湾機能施設整備事業特別会計補正予算（第1号）
▼下水道事業会計補正予算（第1号）
〔令和5年度予算〕
▼一般会計予算（賛成10・反対2森議員・大沢議員）・補正予算（第1号）
▼国民健康保険事業特別会計予算
▼後期高齢者医療事業特別会計予算

条 例

- ▼港湾機能施設整備事業特別会計予算
▼介護保険事業特別会計予算
▼介護老人保健施設事業特別会計予算
▼水道事業会計予算
▼国民健康保険病院事業会計予算
▼下水道事業会計予算
◎定例会3月会議
▼個人情報保護に関する法律施行条例の制定
▼自治基本条例の一部を改正する条例の制定
▼附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定
▼職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定
▼家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
▼放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
▼国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
▼建築基準法の規定に基づく確認申請手数料等徴収条例の一部を改正する条例の制定
▼低炭素建築物新築等計画に関する認定手数料等徴収条例の一部を改正する条例の制定

報 告

- ▼建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定
▼宅地造成工事及び開発行為に関する許可申請手数料等徴収条例の一部を改正する条例の制定
▼水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定
▼スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定
◎定例会2月会議
▼専決処分報告（工事請負契約の金額の変更）
◎定例会3月会議
▼専決処分の報告（工事請負契約の金額の変更・損害賠償の額の決定）
▼例月出納検査の結果報告
▼財政的援助団体等の監査の結果報告

工 事 契 約

- ◎定例会2月会議
▼工事請負契約の締結（令和4年度施行 バンノ沢川砂防工（第8支溪））
・契約金額・相手：2億460万円・道南総合・田中特定建設工事共同企業体
・落札率：97・3%

そ の 他

- ◎定例会1月会議
▼町長の退職期日に関する同意

決 議

- ◎定例会2月会議
▼白老町議会の解散に関する決議（否決 賛成10・反対4）

陳 情

- ◎定例会1月会議・2月会議
▼陳情第1号 白老町議会の自主解散に関する陳情書（提出者 山丸和幸氏、中村隆一氏、福澤孝宏氏、鈴木靖男氏）
・1月会議 議会運営委員会付託
・2月会議 みなし不採択

発 議 案 等

- ◎定例会3月会議
▼白老町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
▼議員の派遣承認
▼委員会所管事務調査の報告（総務文教常任委員会・広報広聴常任委員会）

意 見 書

- ◎定例会3月会議
▼新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める意見書
▼認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書
▼安心して必要な介護を受けられるように制度の改善を求める意見書

全国町村議会議長会 自治功労者表彰

永年にわたり議員を務め、地方自治の振興発展に貢献した功績が認められたものです。

前田博之 議員
(議員歴 15年)



小西秀延 議員
(議員歴 15年)



議会のひびき

■定例会・委員会等

- 【12月】
- 21日 政策研究会
- 【1月】
- 6日 議会運営委員会
定例会1月会議(日程第1号)
- 12日 広報広聴小委員会
政策研究会
- 16日 議会運営委員会
定例会1月会議(日程第2号)
- 18日 議会運営委員会
- 25日 議会運営委員会
- 【2月】
- 6日 議会運営委員会
定例会2月会議(日程第1号)
- 22日 議会運営委員会
定例会2月会議(日程第2号)
- 24日 広報広聴小委員会
政策研究会
- 【3月】
- 8日 総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
- 9日 広報広聴小委員会
- 9日 議案説明会
- 9日 議案説明会
- 10日 議会運営委員会
定例会3月会議
- 15日 全員協議会
議会運営協議会
- 16日 広報広聴小委員会
- 16日 予算等審査特別委員会
- 20日 定例会3月会議

編集後記

日本中の人々を夢中にさせ、3大会ぶりに世界一となった野球の侍ジャパン。大谷翔平選手の二刀流、米国籍の日系二世ラース・ヌートバー選手の抜擢にと、野球界に「新時代」が到来したことを証明した。

さて、定例会3月会議は、今年度の予算審査を中心に議論が交わされた。

その中で、来年1月8日に開催する「二十歳を祝う会」について、ウポポイの体験交流ホールを式典会場にする方向で協議を進めているとのビックニュースが報告された。千葉県浦安市の成人式は東京デイズニリーゾートで実施され毎年多くのメディアに取り上げられるが、白老の式典も国内のみならず海外からも注目されるものになるだろう。これもまさに「新時代」の到来だ。

また、新たに誕生した大塩英男町長は、各議員の質問に対して、「町立病院の改革が最重要課題であること」と「役場内の縦割りを打破し、横断的に町民サービスの向上を図ること」とし、白老の希望の未来を切り拓く強い覚悟をみせた。

議会も住民参加の取組を充実させるなど機能を高めることが求められよう。大塩町長の強いリーダーシップのもと職員が生き生きと働く。白老町の「新時代」の幕開けに大きく期待したい。

(4月12日 記 武又 聖規)